

石川小学校

1、川原のようすと流水のはたらき

(1) 観察する場所

学校より 300 m 下流

(2) 川が見通せる所から、川原の様子や水の流れを観察する。

① 自動車に注意しながら、川の全景をスケッチする。

② 川原や、岸のけずられている様子など、気付いたことを書き入れる。

③ 流れが大きく曲がっている所で、川原ができてるのは、曲がっている内側か、外側か。

(3) 川原に下りて、流水のはたらきを調べる。

① 川原から対岸に進むにつれ、深さはどう変っているか。

② 川原の近くと、対岸の近くで流れの速さはどうか。木片を流して比べる。

③ 流れの速さと、深さの間にどのような関係がありますか、まとめる。

④ 川原の近くの浅い川底の川砂に、波模様がえがかれている。この模様は、れん痕とかフルート・キャストと呼ばれており、この模様から流れの方向や速さがある程度わかる。

⑤ 川原のレキの多くは 10 cm 以下のうす

いレキで、厚味がない。このレキは緑色片岩類で、うすくはがれやすい性質をもった岩石からできている。

